

HAPPYプログラムに関する保健師のつぶやき

- 対象者はいるだろうが、彼らが自らの意志で参加するだろうか?
- 肝臓病予防教室等と異なり、アルコール依存症のことはよく知らない
- 保健指導で健診データが改善されれば(これが目的)それで支援終結
- 保健指導に参加してこなければ、それまでのこと
- 過去の健康教育や啓発活動は、飲むためのお墨付きを与えていたのか?
- □ 飲酒を材料に、自分はどうなりたいのかを考えるきっかけを提示した
- □ 自由な発言ができる雰囲気に誘われて本音が出ていた
- □ 出席率・宿題の履行に驚く
- □ 失敗しても気持ちを分かち合い、自身の飲酒や生き方を振返っていた
- □ スタッフはプログラムに従い、エビデンスに基づく情報提供のみ
- □ 彼らが自分なりの方策を見出し、試していった
- □ ファシリテートのみで、過去の健康教育とは雰囲気が明らかに異なる
- □ 個々の目標達成度に関わらず、会話が多いという印象、さすがSBI
- □ 個別面接では到底困難でも、これこそグループで行うことの強みか

HAPPYプログラムを用いた3回の介入の概要 1回目のセッション 2回目のセッション 3回目のセッション チェックリスト記入・飲酒目標の再設定 AUDITによる飲酒問題の評価 スライド教材後半の視聴 アルコー スライド教材前半の視聴 チェックリスト記入・飲酒目標の設定 約3か月後の評価・ HAPPYプログラムの概要説 酒状況の確認 治医等への結果報告 2~4週 8~12週 ル専門医療機関への紹介 飲酒日記の記入 テキスト教材前半の自己学習 飲酒日記の記 テキスト教材後半の自己学習 目標の再設定 明